

政策 05 産業に関する政策

施策 02 農業の振興

あるべき姿

農業としての作付面積や生産規模を維持し、安定経営・付加価値化で農業所得が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	耕作放棄地面積 (ha)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【農業委員会事務局】	10.1	8.5	8.8	7.8	☀️ (向上)
評価	(状況) 耕作放棄地の面積は、基準値(10.1ha)と比較して、1.3ha減少しました。					☀️ (向上)
	(要因) 農地中間管理事業を活用して担い手農家への利用集積を推進している他、農地パトロールにより耕作放棄地を調査し農地所有者へ指導していることが挙げられます。農地中間管理事業を活用する地域を増やすなど担い手農家への集積を推進すると共に、農地パトロールを継続して行い、耕作放棄地の減少に努めます。					☔️ (低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)
指標	農業法人税割額 (千円)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【農政課】	456	1,412	1,733	600	☀️ (向上)
評価	(状況) 農業法人における法人税割額は、基準値(456千円)と比較して、1,277千円増加しました。					☀️ (向上)
	(要因) 農業法人全体が好業績だったことが挙げられます。安定経営のための手法の一つとして、家族経営から法人化に向けたPRを行うほか、農地中間管理事業の推進などを通じ担い手への農地集積を支援し、農業法人数の増加に努め、農業法人税割額の向上を図ります。					☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)
指標	農産物収穫量 (米、麦、大豆) (t)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【農政課】	11,315	11,236	11,132	12,079	☔️ (低下)
評価	(状況) 農産物収穫量は、基準値(米9,980t、麦1,280t、大豆55t)と比較して、183t減少(米160t減少、麦10t減少、大豆13t減少)しました。					☔️ (低下)
	(要因) 農業従事者の高齢化や後継者不足による離農、都市化による農地減少、天候の影響等が要因と考えられます。					☔️ (低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)
指標	花き出荷額 (千円)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【農政課】	1,894,352	1,608,654	1,700,379	1,900,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 花き出荷額は、基準値(1,894,352千円)と比較して、193,973千円減少しました。					☔️ (低下)
	(要因) 市場の単価が下がったほか、流通ルートが多様化により、出荷形態が変化したことが挙げられます。今後は、研修会等の機会を通して高付加価値の花苗等の栽培を推進するなど、出荷額の向上に繋がるよう支援していきます。					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	認定農業者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
		【農政課】	179	173	162	200
評価	(状況) 認定農業者数は、基準値(179人)と比較して、17人減少しました。					☔ (低下)
	(要因) 農業従事者の高齢化や後継者不足による離農が進んでいることが挙げられます。規模拡大を目指す農家を農地中間管理事業等より支援することで、新たな認定農業者も増えておりますが、それ以上に離農を原因とする減少が上回ったものと考えられます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

## 基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	農地所有適格法人数（法人）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
		【農政課】	22	21	17	30
評価	(状況) 農地所有適格法人数は、基準値(22法人)と比較して、5法人減少しました。					☔ (低下)
	(要因) 事業撤退により、法人が解散したことが挙げられます。今後は、安定経営のための手法の一つとして、家族経営から法人化に向けたPRを行うほか、農地中間管理事業の推進などを通じ担い手への農地集積を図り、農業生産法人数の増加に努めます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

## 基本事業02 生産基盤の整備

指標	かんがい排水路整備率（%）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
		【農政課】	79.2	79.4	79.5	81.4
評価	(状況) かんがい排水路整備率は、基準値(79.2%)と比較して、0.3ポイント向上しました。また、前年度値(79.4%)と比較すると0.1ポイント向上しました。					☀ (向上)
	(要因) 施設の老朽化に伴う補修工事の要望が大半を占め、未整備の水路改修が進まず整備率上昇につながっていないことが挙げられます。今後も引き続き、生産基盤の整備と維持管理に努めていきます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 生産基盤の整備

指標	新たに圃場整備された面積 (基本計画期間累計)（ha）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
		【農政課】	0	52.3	57.5	89.4
評価	(状況) 圃場整備された面積は、基準値(0ha)と比較して、57.5ha増加しました。また、前年度値(52.3ha)と比較すると5.2ha増加しました。					☀ (向上)
	(要因) 令和3年度に鴻巣行田圃場整備事業が順調に施工されたことが挙げられます。今後も、計画の通りに事業が推進できるように支援を行い、新たな圃場整備を推進していきます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (中)

